

前立腺癌について

朝霞地区医師会 はまざき きみひさ 濱崎 公久

☎048 464 4666

前立腺癌は、アメリカでは既に10年ほど前から男性の癌の中で最も高い発生率で、死亡数では2番目に多い癌です。日本では男性の癌の中では死亡数は9番目ですが、徐々に増加しています。日本人の前立腺癌の死者数は2010年には2000年の1.8倍以上、2020年には2.8倍になると推定されます。この死亡数増加率は、すべての癌の中で、今後最も増え方の激しい癌だといえます。

前立腺癌は、早期では全く症状がありません。そのため定期健診が勧められています。癌が進行すると大きくなって尿道を圧迫し、膀胱からの尿の流出を妨げます。その結果、おしっこが近くなったり、出にくくなったり、時には痛みを伴います。さらに尿や精液に血液や膿が混じり、射精時に痛みが伴うことがあります。また癌がリンパ節や骨などの臓器に広がると、その部位に痛みを生じます。

前立腺癌の症状はしばしば前立腺肥大症に似ています。いずれも前立腺の体積が大きくなることにより、排尿時の症状が出現します。前立腺肥大症は前立腺の内腺という部分が過度に増大したもので、癌ではありません。癌なのか肥大症かを区別す

るには泌尿器科医による検査が必要です。

前立腺癌は1つの癌細胞ができて、それが増殖し治療を要するようになるまでに一般的に40年近くかかるといわれています。年齢を重ねるごとに癌細胞の数が増えるため、60歳を越えたらいから前立腺がんの発見率も高くなっていきます。このため、前立腺癌は「高齢者の癌」と呼ばれています。しかし前立腺癌の中でもまれに若年者に発生し、非常に進行が早いものがあり、この場合早急な診断確定、治療開始が必要です。アメリカでは前立腺癌のスクリーニング検査を40歳以上の男性全員に勧めており、日本泌尿器科学会の中にも前立腺癌検診の対象年齢について議論されています。

前立腺癌の検査にはスクリーニング検査、2次検査、確定診断と段階を踏んで行います。スクリーニング検査（PSA検査）は前立腺から産生されるPSAという物質の血液中の濃度を測定します。値が正常より高ければ前立腺の病気の可能性があり、次の2次検査（直腸診と超音波検査）に進みます。直腸診は肛門から5cmくらい指を入れて前立腺の表面を直腸鏡に超

音波検査は肛門から超音波を発生する器具を入れ、前立腺の内部の状態を画像で確認する検査です。PSA検査、直腸診、超音波検査の結果、癌の疑いがあれば行つのが針生検による確定診断です。前立腺の組織を超音波で確認しながらバイオプシーガンという装置で数か所とって顕微鏡で観察します。最終的に癌があるかどうかの確定や、癌の悪性度も分かります。

前立腺癌の治療には、内分泌療法、手術療法、放射線療法、化学療法などがあります。治療方針は癌の進行度、悪性度、患者さんの年齢、合併症の有無などによって選択されます。最終的には専門医と患者さんが話し合い、合意・納得の上で決定されます。いくつかの治療法を組み合わせて行うこともあり、また病期や患者さんの状態に応じて経過観察とする場合もあります。前立腺癌の疑いがあると診断された場合、泌尿器科医に紹介されることになるでしょう。泌尿器科医は尿路性器系の病気の診断と治療について専門的にトレーニングを受けた医師です。泌尿器科医と十分話し合い、治療の選択肢を理解した上で納得した治療を受けてください。

わたしたちの健康

日曜・休日に実施している医療機関

午前10:00~午後4:00

月日	場所	診療所名	科目	☎(048)	場所	診療所名	科目	☎(048)
6	1	新座 生々堂新座西山内科眼科クリニック	循・内・眼・小	202 1112	和光 萩原医院	婦		461 2046
	8	新座 さとうこどもクリニック	小・内	480 5255	朝霞 黒沢内科循環器科医院	内・循		474 5270
	15	朝霞 清水小児科医院	小	466 5310	和光 勝海外科	外・胃・整・皮・内・呼		464 2685
	22	志木 手島医院	内・外・小・麻	473 1441	朝霞 さない耳鼻科クリニック	耳		450 3710



当番医は変更になる場合もあります。確認してからお出かけください。

6月の休日歯科応急診療所

実施日 6/1(日)・8(日)・15(日)・22(日)

受付時間 午前9時~11時30分

場所 新座市休日歯科応急診療所(新座市保健センター)

診察料 健康保険法の規定料金(保険証を必ずお持ちください。)

問い合わせ ☎048 481 2211

今月の主な保健衛生週間行事予定

1~7日は「HIV検査普及週間」です! 1~30日は「リウマチ月間」です! 4~10日は「歯の衛生週間」です!

20~7月19日は「ダメ。ゼッタイ。(薬物乱用防止対策)普及運動(26日・国際麻薬乱用撲滅デー)」です!

救急医療のお問い合わせ

埼玉県救急医療情報センター

☎048 824 4199

埼玉県南西部消防本部

☎048 460 0123

小児救急電話相談

#8000(携帯電話からも相談可能)